

おおた文化の森

地域の輪を広げよう、2011大田文化の森夏まつり 7月29日(金)30日(土)開催



昨年度文化の森夏祭りの様子

去る3月11日の東日本大震災でお亡くなりになった方々、被災にあった皆さんに謹んでお悔やみと御見舞いを申し上げます。以後、震災に配慮して全国各地でお祭りイベントの自粛ムードが漂い文化の森でも開催実施を懸念致しましたが、大量に電力を消費するホールの使用だけは中止。広場の盆踊りをはじめ、集会棟の催物は従来通り7月29日(金)30日(土)に実施いたします。

文化の森夏祭りは新井宿出張所、新井宿八自治連合会、新井宿青少年対策委員、運営協議会、各実行委員会、文化プレーヤー、地域ボランティアとの協働事業で開催されています。「2011大田文化の森夏まつり」は10回目の開催ですが震災の影響で節電に協力する企画、中高生が参加しやすいイベント、それに子供たちが一日楽しんで遊べるようなお祭りを考えております。

企画提案として検討されているものは……。

- ◆ホール恒例のカラオケ大会は多目的室に移して開催するかどうか。
- ◆子供シネマ
- ◆広場での盆踊り、和太鼓演奏、阿波踊り
- ◆地域の協力による夜店
- ◆ストリートダンス
- ◆縁日・駄菓子、綿あめ、金魚すくい
- ◆集会棟での防災・救命救護・AED操作・ローソクで炊飯体験など
- ◆折り紙・千羽鶴づくり
- ◆似顔絵
- ◆レトロコンサートなど。

ご家族お揃いでお楽しみ戴ければ、と思っています。

運営委員/2011大田文化の森夏まつり実行委員会
委員長 野口 宏

平成 24 年度公募企画 募集！

～大田文化の森であなたの企画を実施してみませんか～

大田文化の森運営協議会では、来年度(平成24年4月～平成25年3月)に実施予定の企画を募集しています。

「自分の特技を活かし、地域の役に立ちたい」「音楽や演劇等を通して文化活動を広めたい」「企画を実施したいけれど、どのように進めていったらよいか分からない」方など、区民の方々(在勤、在学も可)の自主的な文化活動を支援している運営協議会がその企画をサポートいたします。

採用されると「施設使用料・付帯設備利用料が無料」「内部規約に従い助成金(上限あり)を

巻頭特集

地域の輪を広げよう、 2011大田文化の森夏まつり 7月29日(金)30日(土)開催

2011年7月29日(金)30日(土)に行われる文化の森夏祭りです。節電に協力しながら中高生が参加しやすいイベント、子どもたちが一日楽しめるようなお祭りです。

平成 24 年度公募企画 募集！

～大田文化の森であなたの企画を実施してみませんか～

平成24年度公募企画の募集が始まりました。大田文化の森であなたの企画を実施してみませんか？

読み応えのあるコラムが自慢



大田区大好き、 在住の外国人にお聞きしました感想は…

大田区に定住する外国人は186,000人。日本に対する率直な感想を3人の方に聞いてみました。

大田区のおもなパワースポットはここに…

暮らしの中の祈りと願い。

新たなパワースポットとして語られ始めている大田区内の神社を紹介します。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

投稿コーナー ちよつとい話

読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつとい話を聞かせて下さい。

大田の顔 キラリ

今回は馬込の伝統野菜を守り続けている方を紹介します。

運協だより

大田文化の森運営協議会からのお知らせです。今回震災の影響で中止や延期になったイベントもお知らせしています。

交付」「チラシ・ポスターの用紙、印刷が無料(但し、1000枚まで)」などの助成、特典があります。
また応募に当たり、下記の通り説明会を開催いたしますので、是非ご参加いただき、多数の方々のご応募をお待ちしております。ちなみに本年度は企画の応募数も46件あり、盛況でした。



この音な・あ・に(昨年度多目的室企画)

<応募説明会>

開催日程：平成23年7月22日(金)

開催時間：①午後2時～、②午後7時～(同内容、1時間程度)

場所：大田文化の森 ①4階第4集会室 ②4階第2集会室

申込：予約不要(直接会場へお越しください)

応募締切：8月31日(水)

なお、応募方法等の詳細につきましては、大田文化の森、区内各文化センター・各図書館にある【応募要項】をご覧ください。

文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.39Web版

2011年7月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

森文化のおおた

大田区大好き、 在住の外国人にお聞きしました感想は…

国際都市をめざす大田区。外国人の行き来も活発ですが、定住する登録者数約18,600の人たちは大田区にどんな思いをお持ちなのでしょう。住民、いや日本人に対する率直な感想を3人の方々に聞きしてみました。

漢字に魅せられ、洗足池の光景がお気に入り! ナタリー・ベルジュロンさん

話しかけると流暢な日本語、それも完璧に近い言葉が返ってくる。「お上手ですね」と尋ねるとフランス第二の都市リヨンの生まれながら、大学で日本語など三か国語の修士号を取得。「漢字を見て絵みたい、とひと目ぼれして日本に興味を持ちました」と言う。
ナタリー・ベルジュロンさん、46歳。1989年にエルメスパリに入社。1994年に初めて来日して以来同社のスカーフ結びの講師として全国の店舗を回り、2008年に独立後はスカーフ本を出版したり、フランス語の講師、さらに手軽に入手出来る日本の食材をつかったフランス風家庭料理教室を両国語を操って開講するなど活躍している。
日本での暮らし、14年。「最初の4年間は元住吉に住んでいたのですが、10年前、再来日し洗足池を見たとき即座に決めました。自然が好きだし、四季それぞれの光が全然違う。近所の商店街の皆さんも優しい。今度の東日本大地震でも“帰国しないの？”“あら、まあ”と気安く声をかけてくれますよ」。その大震災の10日後、彼女は43番札所から88番札所まで3度目の四国お遍路を巡った。「いい出会いが沢山ありました。日本の男性？ 皆さん、シャイですね」。独身で才媛の彼女に「モテるでしょう」と問いかけると、さらり交わす。
日記のアドレス <http://ameblo.jp/nathalienonikki> まで教えてください。



お遍路姿のご本人

大田区大好き!日本も

田村恵美(高 恵芬)さん 中華原郷生活美学協会日本国支社顧問

みなさん、こんにちは。私は、台湾出身の田村恵美(41)です。日本に住み始めて早20年、大田区在住12年になります。来日したきっかけは、幼少の頃に父の影響を受け、日本に関心を持ったことがきっかけでした。その後、縁あって日本に暮らすようになり、今では大田区が第二の故郷だと思っています。
私の考えるこのまちの魅力は、いつも四季を楽しめることだと思います。春の桜、夏の花火、秋のまつり、冬の温泉など…。中でも多摩川に咲く桜の成長を毎日一枚ずつカメラにおさめることが好きです。また私の一番のお気に入りは、商店街です。商店街に出かけると街の活気や親切なお声掛けや笑顔があふれているため、私にとっての辛いことや



出身のタイヤル族の衣装を着たご本人

巻頭特集

地域の輪を広げよう、 2011大田文化の森夏まつり 7月29日(金)30日(土)開催

2011年7月29日(金)30日(土)に行われる文化の森夏祭りです。節電に協力しながら中高生が参加しやすいイベント、子どもたちが一日楽しめるようなお祭りです。

平成 24 年度公募企画 募集!

～大田文化の森であなたの企画を実施してみませんか～
平成24年度公募企画の募集が始まりました。大田文化の森であなたの企画を実施してみませんか?

読み応えのあるコラムが自慢

大田区大好き、 在住の外国人にお聞きしました感想は…

大田区に定住する外国人は186,000人。日本に対する率直な感想を3人の方に聞いてみました。

大田区のおもなパワースポットはここに… 暮らしの中の祈りと願い。

新たなパワースポットとして語られ始めている大田区内の神社を紹介します。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

投稿コーナー ちよつといい話

読者の皆さまと編集部がつくる企画。暮らしの中のちよつといい話を聞かせて下さい。

大田の顔 キラリ

今回は馬込の伝統野菜を守り続けている方を紹介します。

運協だより

大田文化の森運営協議会からのお知らせです。今回震災の影響で中止や延期になったイベントもお知らせしています。



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.39Web版
2011年7月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

悲しいことの壁を乗り越える活力になっています。

さて、私は2010年より大田区から「来～る大田区大使」に任命されました。主な役割は、大田区の魅力を世界に向けて発信することです。大好きな大田区の魅力を更に我究・探求していきたいと思っています。今後も私のブログに日々の出来事をアップしていきますので、どうぞご覧下さい。大田のまちと台湾が身近に感じてもらえることが私の夢なので、夢が実現するようがんばってまいります。(原文のまま)

<http://ameblo.jp/kaohuifen/>

人情と商店街が大好き!

ムハマド ムジャヘッドさん

学生の頃からグローバル的なビジネスをしたいと考えていたムジャヘッドさん(41)は、日本にある日本語学校に留学生として訪れ、その後、車の中古販売等のアルバイト経験を活かし、自分でビジネスを立ち上げた。

在住22年の今では中古車を買付け、海外に販売すると云う会社の社長業であると共に、家族を愛し地域を愛し、また「来～る大田区大使」としても積極的に大田区とも関わりあっているパキスタン人である。

彼は毎月、山形県花沢市に中古車の買付けに行くと言いが、ビジネスと云うより、この地域の「素朴さ」を求めて里帰りする感覚である。彼のライフスタイルは、ビジネスをも楽しみな時間として過ごすのである。

また、大田区の商店街が大好きだと言う。商店街には人情があり、スーパーとは全く違う買い物楽しさがあり、物を買うと云うだけではなく、人の声が絶えず聞こえる賑やかな街を歩いていると声をかけられる事もあり、商店街に安心感を得ることができると言う。これもまた、彼のライフスタイルなのだ。

今は、子育てと共に家族と過ごす時間が大切だと云うが、子供が大きくなった時には、次なる自分の夢の実現に向けて再スタートするのだと話すムジャヘッドさん。私には、中古車販売だけでは無い、より大きな活動する姿を感じさせてくれるインタビューであった。



タイヤ公園にて、ご本人

おおた文化の森

大田区のおもなパワースポットはここに...

暮らしの中の祈りと願い。

このたびの東日本大震災で、犠牲となられた多くの方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の一日も早い復興を願っています。

さて、自然と共に暮らす私たちは、その恵みを受ける一方で、その脅威から逃れようもありません。こうした中、人知の及ばぬ事態に対し日々の安泰や幸運を求めて私たちは身の回りに多くの「祈りと願い」の場を作り上げて来ました。それらは、地域を見守る鎮守の御宮(お社)であり、現世利益の強運を授けてくれる社寺や路傍の神仏などさまざまです。

今回は、さまざまな由緒・霊験に満ちて伝承されて来たいくつかの神社や、新たにパワースポットとしても語られ出している大田区内の神社を紹介してみます。

「武運長久」多摩川浅間神社

(東急東横線/多摩川線・多摩川駅下車、4分)

【由緒】鎌倉時代、夫・源頼朝の出陣を案じた妻・政子がここまで来て、彼方の富士を拝して持仏の正観音を祀ったのが当社の起源とされ、「武運長久」の由来とされています。旧下沼部村の鎮守社で、社前からは多摩川の上流にたおやかに裾を引く霊峰富士が望めます。境内の背後の多摩川台公園内には複数の前方後円墳・円墳が立地し、散策に最適です。住所は田園調布1-55-12。



「家運隆昌・家内安全・恋愛成就」新田神社

(東急多摩川線・武蔵新田駅下車、4分)

【由緒】正平13年(1358)、新田義貞の子・義興は多摩川矢口の渡りで足利方の謀りごとにより憤死。怨霊となった義興を墳墓に祀り鎮めたのが当社の始まり。江戸時代に蘭学者・平賀源内の発案により、怨霊・厄除けの「矢守り」が作られ、今も縁起物として人気があります。平成20年(2008)境内に町おこしの一環として「LOVE神社」の石碑が置かれてからは恋愛成就祈願の若者の参拝が目立つようになりました。住所は矢口1-21-23。



「合格成就」北野神社 (通称 止め天神)

(京急線・六郷土手駅下車、3分)

【由緒】徳川8代将軍吉宗公の落馬の危難を救った利益ある神とされ、いつしか「止め天神」と呼ばれ「落ちない」ご利益が語られ出しました。試験や選挙の合格・当選祈願のお参りがあるそうです。六郷神社の境外末社で仲六郷4丁目地域の人々に祀られて来ました。住所は仲六郷4-29-8。

「万病平癒」磐井神社

(京急線・大森海岸駅下車、10分)

巻頭特集

地域の輪を広げよう、 2011大田文化の森夏まつり

7月29日(金)30日(土)開催

2011年7月29日(金)30日(土)に行われる文化の森夏祭りです。節電に協力しながら中高生が参加しやすいイベント、子どもたちが一日楽しめるようなお祭りです。

平成24年度公募企画 募集!

~大田文化の森であなたの企画を実施してみませんか~

平成24年度公募企画の募集が始まりました。大田文化の森であなたの企画を実施してみませんか?

読み応えのあるコラムが自慢



大田区大好き、

在住の外国人にお聞きしました感想は...

大田区に定住する外国人は186,000人。日本に対する率直な感想を3人の方に聞いてみました。

大田区のおもなパワースポットはここに...

暮らしの中の祈りと願い。

新たなパワースポットとして語られ始めている大田区内の神社を紹介します。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

投稿コーナー ちよつとい話

読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつとい話をお聞かせ下さい。

大田の顔 キラリ

今回は馬込の伝統野菜を守り続けている方を紹介します。

運協だより

大田文化の森運営協議会



大田文化の森運営協議会からのお知らせです。今回震災の影響で中止や延期になったイベントもお知らせしています。



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.39Web版
2011年7月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

【由緒】延喜元年(901)成立『日本三代実録』という古典に記載された蒲田の稗田神社と並ぶ区内最古の神社。門前の東海道脇(現在の国道一号線歩道中)に「磐井」があります。この井戸水を飲むと、心正しい人には「清水」が、邪心の者には「塩水」に変わると言われ、万病に効く霊水としても語られて来ました。社名はこの井戸に由来し、井戸は大田区の文化財に指定されています。また、当社の社室には肌にもうの模様を持つ「烏石」や、打つと鈴に似た音を立てる「鈴石」があり、鈴石は「鈴が森」の地名の由来になったとも言われます。住所は大森北2-20-8。

「商売繁盛・交通安全」穴守稲荷神社
(京急羽田空港線・穴守稲荷駅下車、3分)

【由緒】現在の羽田空港敷地の海老取川の川向うは、文化年間(1805~18)から多摩川地域を干拓した新開地でした。その開拓新田の周りの堤の穴を守る稲荷祠として祀られたのが当社の始まり。明治時代から「穴」に因むことから花柳界などで人気を得て、瞬間に関東一の「流行り神」として広まりましたが、第二次大戦で社殿が被災、戦後直ぐ占領軍の海老取川以東の強制退去命令により移転しました。往年の賑わいは境内の「福砂」や移転された奉納石碑に残っています。今は「金運上昇」の神ともされています。当社から数百メートル離れた多摩川河口に祀られる玉川弁財天も「金運上昇」のご利益で語られています。住所は羽田5-2-7。



「咳鎮めの神」椿神社
(京急線・京急蒲田駅下車、10分)

【由緒】祭神の猿田彦は「境の関」を守る神、転じて「咳の神」となり、椿神社は咳鎮めにご利益ある神とされています。境内に奉納されている麻紐を持ち帰り首に巻くとご利益があるとされ、治るとお礼に新しい麻紐を奉納します。木偏に春と書く「椿」は国字で春を暗示するとともに、常緑の葉から活力が宿る木ともされ、神ごとにしばしば用いられてきました。蒲田2丁目地区周辺の人々が崇敬者で、社の管理は 田神社が担っています。住所は蒲田2-20-11。

* 写真はいずれも松浦克巳さん

森文化のおおた

巻頭特集

地域の輪を広げよう、
2011大田文化の森夏まつり
7月29日(金)30日(土)開催

2011年7月29日(金)30日(土)に行われる文化の森夏祭りです。節電に協力しながら中高生が参加しやすいイベント、子どもたちが一日楽しめるようなお祭りです。

平成 24 年度公募企画 募集!

～大田文化の森であなたの企画を実施してみませんか～

平成24年度公募企画の募集が始まりました。大田文化の森であなたの企画を実施してみませんか?

読み応えのあるコラムが自慢

大田区大好き、
在住の外国人にお聞きしました感想は…

大田区に定住する外国人は186,000人。日本に対する率直な感想を3人の方に聞いてみました。

大田区のおもなパワースポットはここに… 暮らしの中の祈りと願い。

新たなパワースポットとして語られ始めている大田区内の神社を紹介します。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

投稿コーナー
ちよつといい話
みなさまの投稿、お待ちしております

読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつといい話を聞かせて下さい。

大田の顔 キラリ

今回は馬込の伝統野菜を守り続けている方を紹介します。

大田文化の森運営協議会
運協だより

大田文化の森運営協議会からのお知らせです。今回震災の影響で中止や延期になったイベントもお知らせしています。

地域ネットワーク

わがまちは皆でつくろう! 「嶺町北町会」 嶺町北町会 会長 安藤政成

この町会は御嶽山駅を利用している住人が多くいて、駅周辺は社寺や大手スーパーがあり、その建物は商店街に溶け込む景観となっている。

しかし、戦前は畑と野原が広がり北風を防ぐ屋敷林のある農家が点在し、一際目立った社寺と講中宿茶店の建物があり、社寺境内は樹木が鬱蒼と茂り、屋間でも人が近寄る事を拒む程の暗い広大な森があり「東京府荏原郡調布村大字嶺字入船」と云う住居表示だった。住居表示がそのまま町会名になったその頃は、住民同士の情報交換や親善を図ることが「入船町会」の“主”であったと私は記憶している。関東第一分社として御嶽神社が1535年頃に草創した頃から、この地区の「まちづくり」は神社を中心に始まったらしい。

今は住民が安心・安全の基、笑顔で買い物ができる「まち」、行事を多く開催する事で多くの住民が集まる「まち」。そんな「まちづくり」を町会と商店会が中心となり、情報交換や人手による協力、神社においては場所(境内)の提供などしている。

また地域の潤滑油的な存在として活動するボランティア団体(昨秋、全国表彰授与)も積極的に参加し、それぞれが労を惜しまず本気で取り組んでいる。また、東日本大震災の後、各地で行事が縮小されている状況の中でも、この町は復興支援として募金活動を始め、例年行われている行事(祭り、イベント等)を実施している。行事を行うことは経済効果を期待するだけでなく、住民同士が協力しあう絶好の場であり、この事は災害時には、大いに必要な事と思っている。そして、夏には「盆踊り・阿波踊り」、秋には「神輿渡御」が開催される事が決定されており、既に準備が始まっている。

「御嶽山駅」を降りて、この地区を散策してみてください。



行事準備作業で協力する住民と安藤会長

桜と文士村で賑わう馬込 臼田坂親和会 会長 小林 全(たもつ)

馬込の桜並木は、大田区内でも抜き出て桜の名所にあげられ、桜花の時節には一段と花見客で賑わう癒しのスポットです。位置は南馬込四丁目48番(当町会の南方向)から第二京浜国道方向への区道に沿った緑道に立ち並び、北方向・善照寺までの500mに亘ります。また、桜並木に並列し臼田坂親和会・南馬込中和会・南馬込西一会の三町会が隣接する地帯です。

現在桜並木は暗渠上ですが、かつてこの下を流れる小川の縁に、地元有志によって百本の苗木が植樹された(昭和28年)ものと見聞きしております。先人の先見の明に頭の下がる思いです。植樹時



桜並木を踊る某連一行の阿波踊り (写真提供:馬込特別出張所保存版)



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.39Web版

2011年7月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

から60年近くを重ね、花の季節には絢爛に咲き誇っています。

一方、馬込地区には多くの文士が住まれたことの由来から「馬込文士村」の呼び名もあり、歴史・文化の探索や見学者の通り道にもなっています。隣接に龍子記念館、近くには徒歩数分の所に池上梅園などもあります。

毎年4月第1日曜日には、桜並木公園（桜並木中間に所在）をメイン会場に1日限りの「馬込文士村大桜まつり」が開催されます。今年はその3・11未曾有な東日本大震災・被災者の無念さに心を砕き、いち早く中止決断のお知らせとなりました。毎回イベント会場は花見・見物の方々が超満員の盛況。第20回に当たる昨年は1万人余の賑わいで、色々な食べ物コーナーが所狭しと出店。踊りの部では、短時間ながら郡上踊りの輪が幾重にも広がり、桜並木の沿道は流し踊りや各連毎の阿波踊りの隊列が楽しく賑やかに流れ、ギャラリーを満喫させました。

この「馬込文士村大桜まつり」は、馬込の文化であり宝です。イベントは馬込地区自治会連合会・馬込商店会連合睦会が主催、南馬込桜並木保存会の共催による馬込挙げての事業です。是非馬込の桜並木・文士村へ足をお運びください。



ながら族の見本ですよ

散歩のついでに、ゴミ拾い。いやゴミ拾いのついでに散歩を楽しむというのでしょうか。新宿と南馬込に通じる臼田坂で早朝、高齢の男性が長ばさみを使いながら器用に拾いあげてはせせとビニール袋に詰め込んでいく。しかも歩調は一定のリズムを崩さずに、ホントに散歩を日課にしているような何気ない仕草。若い人だったら、きっとイヤホンで音楽を聴きながらなんて姿がサマになっているのでしょうか、私なんてなかなか真似ができそうにない。声をお掛けしようと思っても「お疲れさま」、いや「ご苦労さま」と言うのも、なんだかご本人の主意に沿わないような気がして控えてしまいましたが、何度かお見かけするうちにきっと会話が交わせるかしら。かく言う私は犬を連れての散歩が日課。せいぜい人様に迷惑をおかけしないようにはしているつもりですが。

山王2丁目 主婦・河合美紀(46)

このコーナーは読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちよつといい話」(300字以内)の投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合はinfo@ota-bunkanomori.jpまで。誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)・年齢・所在地とさせていただきますが、住所・氏名・年齢・電話番号を明記してください。

おおた文化の森

巻頭特集

地域の輪を広げよう、
2011大田文化の森夏まつり
7月29日(金)30日(土)開催

2011年7月29日(金)30日(土)に行われる文化の森夏祭りです。節電に協力しながら中高生が参加しやすいイベント、子どもたちが一日楽しめるようなお祭りです。

平成24年度公募企画 募集!

～大田文化の森であなたの企画を実施してみませんか～

平成24年度公募企画の募集が始まりました。大田文化の森であなたの企画を実施してみませんか?

読み応えのあるコラムが自慢

大田区大好き、
在住の外国人にお聞きしました感想は…

大田区に定住する外国人は186,000人。日本に対する率直な感想を3人の方に聞いてみました。

大田区のおもなパワースポットはここに… 暮らしの中の祈りと願い。

新たなパワースポットとして語られ始めている大田区内の神社を紹介します。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

投稿コーナー ちよつとい話

読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつとい話をお聞かせ下さい。

大田の顔 キラリ

今回は馬込の伝統野菜を守り続けている方を紹介します。

運協だより

大田文化の森運営協議会からのお知らせです。今回震災の影響で中止や延期になったイベントもお知らせしています。

大田の顔 キラリ

馬込の伝統野菜を 守り続けている人たち

大田区馬込に、いまでも伝統野菜を守り続けている人がいます。「馬込大太三寸人参」(まごめおおぶとさんずんにんじん)の波田野年成さん(81)と「馬込半白節成胡瓜」(まごめはんじろふしなりきゅうり)の波田野惇さん(70)。ご当地野菜が話題になっている最中、細々ではあっても耕す「馬込ブランド」へのこだわりを伺ってみました。

馬込大太三寸人参 農業ひとすじ年成さん、後継者は?

同じ中馬込に住むご兩人にその関係を伺うと同地区には波田野姓が本家、分家の流れで12軒もあるそうで、「こちらはお互い分家の方で」と笑う。年成さんいわく。「わたしは昭和25年(1950)当時、農協が農林省に種苗名称登録をした頃にはすでに人参づくりに関わっていましたが、60年に都営地下鉄浅草線が一部開通、宅地化が進んだことによって生産する畑も減った。いまでは毎年11月に開かれる大田区の品評会に出したり、近くのJA馬込支店に出荷するくらいで、種用に10本植えることだけは絶やさないうです」。

人参はまさに長さ約3寸(9センチ)ほどの、寸胴の形をしたものが標準で、根の先が丸みを持っているのが特徴で「市販されている人参は柔らかく、においを落としてトマトのような青臭さ、見た目が良いようなものが売れる感じがしますが、こちらにはおい、硬さも少し違うかもしれません」という。年成さんは奥様を亡くして現在、独り暮らし。「この仕事を引き継いでくれる当てもないので、どうぞすばいりですかね」と苦笑いしています。



伝統野菜を守る波田野年成さん(左)と惇さん



品評会で表彰された年成さんの「馬込大太三寸人参」

馬込半白節成胡瓜 変色! 日持ちの悪さが惇さんの悩み

惇さんのひとこと。「なぜ現物を見かけないの？ とお思いでしょう。そりゃあ流通に乗りにくいからですよ」。このきゅうり、かつて荏原郡大井村で作られていた「大井胡瓜」を、馬込の農家が瓜(うり)を掛け合わせて改良したもので、色が白く茎の節ごとに実がなるところから“半白節成”と呼ばれるようになったそうですが、採れたての白さが夕方になると黄色に変色する。その日持ちの悪さが流通網に適さず、昭和30年代に隠れた存在になったという。歯切れがよくて、糠漬けとして美味しいそうですが、残念ながら収穫した惇さん一家と近所の知り合いに配るくらいしか今は口にできないというから惜しい話。

「花粉などで他の野菜と交配したら馬込ブランドではなくなってしまうので、その点大変気を遣います」と惇さん。一株で15、6本成り、種1000取るのに4、5本選ぶそうですが、保存・継承する種が途切れてしまえば文字通り悔いを残す。「私は会社勤めを終えたあと親父から引き継いだのですが、今後はどうなりますか」。こちらも思案中です。



節ごとに実る「馬込半白節成胡瓜」

文化の森イベントスケジュール

イベント情報
文化の森側でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

- 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX) をご記入願います (1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。
- ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森 Vol.39 Web版
2011年7月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX 03-3772-0704
E-mail: info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会 Web サイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

- おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

運協だより

大田文化の森運営協議会



東日本大震災による催事変更のお知らせ

大田文化の森運営協議会では東日本大震災の影響による諸般の事情に鑑み、施設の指定管理者である財団法人 大田区文化振興協会と同調して、3月12日～4月2日までの主催事業を全て中止または延期させていただきました。また、その後の福島原発の影響による電力事情から節電対策にも対応。そのため、夏場電力を最も消費するホールでの催事を7月から3カ月間、中止または延期することに致しました。企画を楽しみにしていた方々にはご迷惑をおかけいたします。

[◆ 中止または延期となった企画はこちらをご覧ください](#)

東日本大震災に思う

大田文化の森運営協議会 会長 太田黒 恵

日々報道される悲惨な被害状況を知るにつけ、胸が締めつけられる思いです。突然に家族やすべてを失った悲しみや不安を抱えて、想像を絶するつらい思いの中で、それでも笑顔の子どもたちや、泣き言を言わないでじっと我慢に耐えている高齢者の「ありがとう」を見るにつけ、悲しみのなかに強さも優しさも感じて涙が出ます。何事もなく無事でいられた私たちは、私たちが出来ること、やらなければならないこと、普通に暮らすことの大切さを誰もが感じているのではないのでしょうか。大田文化の森運営協議会では、より強い絆を築き、助け合いながら手をつなぐ優しさを発信していかなければなりません。延期になったイベントも少しずつ復活しています。この夏の節電の中でも、精一杯、夏まつりにふさわしいものを目指します。どうぞいつもの笑顔と元気を…そして地域に生きている喜びを、一人一人が活力を取り戻せることで日本が元気になることを願っています。

おおた文化の森

文化の森 イベント情報 夏にもあり

夏はイベントがイッパイ！お気に入りのイベントを探して参加しよう！

楽しいイベントが一杯！ ホール、多目的室、広場等で行われるイベント

■2011大田文化の森夏まつり

夏の恒例イベント。節電しながら暑い夏を楽しく、みんなで盛り上がりましょう！未就学児の同伴可。詳細は1面を。

□開催日時：7月29日(金)、7月30日(土)10:00～20:30 □申込：当日会場へ

生活・心に役立つ講座 知的好奇心を満足させる魅力あるイベント

■やさしい、とっさの英会話

羽田空港が国際化した今、英語を通して外国の人々と交流できたらすばらしいと思いませんか。

□開催日時：8月6・13・20日(各土) 10:30～12:00 □対象：初心者 □参加費：2000円(全3回分) □定員：抽選で25名 □申込：7月19日(火)必着

■「いきる」ってなあに？ ～子どもの心と体の科学～

「子供が生きる力を育むためには、心と身体はひとつであることを実感する機会が必要」と学ぶ、大人向けの講座(初回のみ)と、子ども向けのワークショップ(3回)。初回のみ保育有(事前申込制)。

□開催日時：9月10・24日(土)、10月2・16日(日) 10:00～12:00 □対象：6～10歳の子ども(親が初回を受講でき、かつ全3回参加できる方)、大人は子どもとの参加者ほか、興味のある方ならどなたでも □参加費：1組1000円(全4回) □定員：抽選で30組 □申込：8月20日(土)必着

■子育ては一人じゃないよ ～子育てが楽しくなる講習会～

赤ちゃんの脳の発達が解明されてきている今。現役で子育て中の親たちに、子育てが楽しくなるメッセージを。保育有(事前申込制)。

□開催日時：10月15・29日、11月5・19日(各土) 9:30～11:30 □対象：18歳以上 □参加費：2000円(全4回分) □定員：抽選で30名 □申込：9月30日(金)必着

申し込み・問い合わせ

〒143-0024大田区中央2-10-1-4F 大田文化の森運営協議会

電話：03-3772-0770 / FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・年齢(学年)・住所・電話番号・「情報誌」を明記(はがき1枚に1講座、原則1名/組まで)。

■保育対象は満6ヶ月以上の未就学児。希望者は企画申込時に上記に加え「保育希望」・対象児の氏名・月齢も明記。1人1回500円。

■特記のない場合は未就学児の同伴をご遠慮ください。

■事前販売のチケットは全自由席、原則大田文化の森1階総合受付で販売。

体験してみよう！ 日頃なかなか体験できない貴重なイベント

■「折り紙で彩る源氏物語の世界」展示と制作教室

歴史的古典文化を題材にした、折り紙によるパネル展示ほか。源氏の生きてきた時代の雰囲気表現する。未就学児の同伴可。

□開催日時：7月11日～15日(金) 10:00～18:00(初日11:00～、最終日16:00まで)〈展示〉、13日(水)13:30～16:30〈教室〉 □定員：抽選で35名(教室のみ) □申込：当日会場へ

■もくもく ～ドライアイス実験～

ドライアイスの不思議な性質やエネルギーを、日常的な材料や道具を用いて調べる。科学実

巻頭特集

地域の輪を広げよう、 2011大田文化の森夏まつり

7月29日(金)30日(土)開催

2011年7月29日(金)30日(土)に行われる文化の森夏祭りです。節電に協力しながら中高生が参加しやすいイベント、子どもたちが一日楽しめるようなお祭りです。

平成24年度公募企画 募集！

～大田文化の森であなたの企画を実施してみませんか～

平成24年度公募企画の募集が始まりました。大田文化の森であなたの企画を実施してみませんか？

読み応えのあるコラムが自慢



大田区大好き、

在住の外国人にお聞きしました感想は…

大田区に定住する外国人は186,000人。日本に対する率直な感想を3人の方に聞いてみました。

大田区のおもなパワースポットはここに…

暮らしの中の祈りと願い。

新たなパワースポットとして語られ始めている大田区内の神社を紹介します。



日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつとい話をお聞かせ下さい。



今回は馬込の伝統野菜を守り続けている方を紹介します。



大田文化の森運営協議会からのお知らせです。今回震災の影響で中止や延期になったイベントもお知らせしています。



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話:03-3772-0770
FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号
(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込
多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケット
は、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.39Web版
2011年7月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

験に興味のある親子におすすめ。

□開催日時:7月23日(土) 9:30~11:30 □対象:小学生の親子 □参加費:1組300円 □定員:抽選で15組 □申込:7月14日(木)必着

■もしも原子がみえたなら

原子模型等を作成しながら、分かりやすい様々な実験を試みる連続講座。やさしい物理を親子で学んでみよう。

□開催日時:8月6日(土)・7日(日)9:15(両日)~13:15(6日)/11:30(7日) □対象:小学生の親子 □参加費:900円(1組2日間分) □定員:抽選で15組 □申込:7月28日(木)必着

■夏休み自由研究にチャレンジ! 手作り絵本

自分で考えたアート絵本を完成させよう。自由研究にもなるかな?

□開催日時:8月20日(土) 12:30~16:00 □対象:幼稚園児~小学生(園児は保護者同席) □参加費:500円 □定員:抽選で30名 □申込:8月5日(金)必着

■かんたん 粘土でつくるスイーツデコケーキ

粘土のマカロンやホイップ粘土を絞ったクリームのパリエーションの上に、パーツをトッピング。夏休みの自由研究に人気。

□開催日時:8月27日(土) 13:00~16:00 □対象:小学生以上 □参加費:800円 □定員:抽選で30名 □申込:8月10日(水)必着

■こども無料の「わんぱく寄席」

大田区在住の三遊亭司氏ほかと一緒に、みんなで落語を楽しもう! ワークショップで落語家体験もできる。

□開催日時:8月29日(月)13:30~16:30 □対象:お子さんとその保護者 □参加費:中高生300円、大人500円 □定員:抽選で60名 □申込:8月15日(月)必着

■初級~中級者向け「民謡をうたおう」教室

プロ歌手による、民謡歌唱指導教室。日本の伝統的な民族音楽である民謡を、基本から優しく学ぶ6回講座。

□開催日時:9月2・16日、10月7・21日、11月4・18日(各金)13:30~15:30 □対象:小学生以上 □参加費:3000円(全6回分) □定員:抽選で30名 □申込:8月18日(木)必着

■世界で一冊のマイ絵本づくり

子どもに思い出の一冊を。題材集めからオリジナル絵本が完成するまで、参加者みんなで楽しむ感動のワークショップ。

□開催日時:9月10・24日、10月8・22日、11月12・26日(各土)10:00~12:00 □対象:絵本を贈りたいお子さんのいる方 □参加費:3000円(全6回分) □定員:抽選で30名 □申込:8月25日(木)必着

■イラスト・絵画・広告デザイン教室

①歴史②基礎知識と実習③作品づくり、を学ぶ全6回講座。保育有(事前申込制)。

□開催日時:9月11・25日、10月9・23日、11月6・20日(各日)14:00~16:00 □参加費:6000円(全6回分) □定員:抽選で20名 □申込:8月22日(月)必着

■13絃の小さなお箏・文化箏講座

86cmの小さなお箏で、日本の伝統的な和楽器を手軽に楽しむ。「さくら」「荒城の月」「アメijingグレイス」などを演奏。期間中、楽器などのレンタル有、希望者は申込時に明記のこと。

□開催日時:9月10・24日、10月8・22日、11月5日(各土)19:00~20:30 □対象:中学生以上 □参加費:5000円(全5回分) □定員:抽選で20名 □申込:8月25日(木)必着

■自分を知る! はじめての占星学入門講座

占星学を学び活用する。①占星学とは? ②自分を占星学で分析してみる・理解を深める③相手を占星学で分析してみる・理解を深める・気づいたことをお互いにシェアする、の全3回。

□開催日時:9月21日、10月12・26日(各水)14:00~16:00 □対象:18歳以上 □参加費:3000円(全3回分) □定員:抽選で20名 □申込:8月25日(木)必着

■まんまるまん月お月様にしえ人は何思ふ?

オカリナ奏者の杉山雅彦氏ほかと一緒に音楽を奏で、茶道体験と、お月見のお話を聞く。リコーダー又は鍵盤ハーモニカを持参のこと。

□開催日時:9月11日(日) 13:30~16:00 □対象:小学生 □参加費:500円 □定員:抽選で30名 □申込:8月25日(木)必着

■ヘルシーで美味しい花巻き寿司づくりにチャレンジ!!

海苔はヘルシーで美味しい。大森特産品を地域に普及させるためにも。好評企画。

□開催日時:10月2日(日)10:00~14:00 □対象:小学生以上 □参加費:小学生500円、

中学生以上1000円□定員：抽選で30名 □申込：9月21日(水)必着

■誰でも簡単！リフレッシュ体操

五感を使った簡単なゲームやストレッチなど。自分で、みんなで、動く楽しさを体感し、気持ちよく健康に。脳トレ効果も。

□開催日時：10月～平成24年3月の毎月第一水曜 □定員：抽選で30名 □参加費：1200円 □申込：9月21日(水)必着

■第2回大田区民・東御市民 童謡唱歌交流広場

童謡唱歌を通じて交流を深める。大田区民で6回の練習を行い、2月には演奏終了後、交流会を行う。童謡・唱歌を次世代に継承するために。長野県東御市の紹介などの展示も2月に予定。

□開催日時：10月4・18日、11月8日、12月13日、1月31日(各火)18:30～20:30〈練習〉、2月5日(日)14:00～〈交流広場〉 □対象：小学校4年生以上(未就学児の同伴可) □定員：抽選で70名 □参加費：高校生以下1500円、大人3000円 □申込：9月22日(木)必着

■シャッキリ体操で介護のコリほぐし

介護に疲れている家族のみなさんが疲れを癒し、元気を取り戻すために。特に、負担を軽減する為のコリほぐし体操、介護者同士のコミュニケーションワークショップやメンタルケアで体と心のコリをほぐす。当日の要介護者のお世話の受け付けも有(事前申込制、企画申込時に明記)。

□開催日時：10月11・25日、11月8・29日(各火)10:00～12:00 □対象：介護に携わっている家族・施設従事者など □参加費：2000円(全4回分、要介護者分も別途同料金) □定員：抽選で15名(要介護者は5名) □申込：9月28日(水)必着

■季節のアート ～年賀状とX'mas リース～

①絵手紙で描く年賀状②消しゴムハンコの年賀状③カラー新聞紙で作るリースの、全3回。

□開催日時：10月19・26日、11月2日(各水)13:30～15:30 □参加費：3000円(全3回分) □定員：抽選で20名

□申込：10月5日(水)必着

申し込み・問い合わせ

〒143-0024大田区中央2-10-1-4F 大田文化の森運営協議会

電話：03-3772-0770 / FAX：03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・年齢(学年)・住所・電話番号・「情報誌」を明記(はがき1枚に1講座、原則1名/組まで)。

■ 保育対象は満6ヶ月以上の未就学児。希望者は企画申込時に上記に加え「保育希望」・対象児の氏名・月齢も明記。1人1回500円。

■ 特記のない場合は未就学児の同伴はご遠慮ください。

■ 事前販売のチケットは全自由席、原則大田文化の森1階総合受付で販売。

😊 募集してま〜す！ 各種催しでの募集をしています

文化プレーヤー(ボランティア)募集

大田文化の森運営協議会では日ごろ多彩な催しを行っていますが、その実施にあたって企画・立案、サポート、さらに講師・出演者としての登録や写真・ビデオ撮影など文化活動を支える良き仲間を募っています。この文化プレーヤー(ボランティア)のプレーヤーという言葉には「楽しむ、表現する、演じる」という意味が込められていますが、ご希望される方は文化の森4階運営協議会事務局までお問い合わせください。

■ 受付時間：月～金曜 9:00～18:00

■ 電話：03-3772-0770 FAX：03-3772-0704

■ 住所：〒143-0024 大田区中央2-10-1-4F

おおた文化の森

おおた文化の森カタログ 森の森ってどんなところ?何をやっているの?

Q1. なんのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化活動支援のための中心施設です。大田区政の基本方針となっている長期基本計画「おおたプラン2015」にはこう書かれています。
『大田文化の森は区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営にあたっては、地域の実情に合わせた区民や団体による自主運営など多様な方式を積極的に取り入れ、より利用しやすく、親しみのもてる施設にします。』

Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m2)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、①任意登録の文化プレーヤーによって実施する「実行委員会企画」と、②区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募企画」、③「運営協議会の自主企画」の3種類があります。


施設管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

Q4. どんな利用ができるの?

- 企画の実施
 - 1.文化プレーヤーに登録して実行委員会または文化プレーヤー事業部に参画する、2.「公募による事業」に応募する
 - 3.運営協議会が行う自主事業に参画する。
- ボランティアとして参画

文化プレーヤーに登録して希望のボランティア活動をする。
- 貸館を利用する

[うぐいすネット\(コンピュータを活用した登録制の申込システム\)](#)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設窓口で申込む。(詳しくは利用案内をご覧ください。)



ティラウンジ **すばる**

ちょっとここでコーヒーブレイク

飲み物・軽食をご用意して皆様のご来店をお待ちしています。

営業時間 10:00~17:00
定休日 隔週月曜・全館休館日

巻頭特集

地域の輪を広げよう、
2011大田文化の森夏まつり
7月29日(金)30日(土)開催

2011年7月29日(金)30日(土)に行われる文化の森夏祭りです。節電に協力しながら中高生が参加しやすいイベント、子どもたちが一日楽しめるようなお祭りです。

平成 24 年度公募企画 募集!
~大田文化の森であなたの企画を実施してみませんか~

平成24年度公募企画の募集が始まりました。大田文化の森であなたの企画を実施してみませんか?

読み応えのあるコラムが自慢

大田区大好き、
在住の外国人にお聞きしました感想は...

大田区に定住する外国人は186,000人。日本に対する率直な感想を3人の方に聞いてみました。

大田区のおもなパワースポットはここに...
暮らしの中の祈りと願い。

新たなパワースポットとして語られ始めている大田区内の神社を紹介します。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

投稿コーナー **ちょっといい話**
みなさまの投稿、お待ちしております

読者の皆さまと編集部がつくる企画。暮らしの中のちょっとしたいい話をお聞かせ下さい。

大田の顔 キラリ

今回は馬込の伝統野菜を守り続けている方を紹介します。

大田文化の森運営協議会

運協だより

大田文化の森運営協議会からのお知らせです。今回震災の影響で中止や延期になったイベントもお知らせしています。

大田区役所 大田文化の森運営...

日本, 〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

保存

[拡大地図を表示](#)



[Googleマップで大きな地図を見る](#)



404. That's an error.

The requested URL /maps/sv was not found on this server. That's all

[Googleマップで大きな地図を見る](#)

バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

- 東急池上線池上駅より
東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車
- JR大森駅(西口)より
東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車
- JR蒲田駅(西口)
東急バス大井駅行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先

- 大田文化の森運営協議会事務局
〒143-0024 大田区中央2-10-1
電話: 03-3772-0770/FAX: 03-3772-0704

文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

[文化の森について アクセス&MAP](#)

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704
■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。
■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.39Web版
2011年7月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森

編集後記

◆東日本大震災が発生してから、初めて携わった編集作業。いくつかの記事の中で文言を引用させて戴きましたが、被災者の方々を励ます適切な言葉についてつくづく考えさせられました。テレビでも著名なタレントが「一緒に頑張りましょう」「頑張れ！日本」などと語るキャンペーンがありました。が、「頑張れ」という言葉がむしろ被災者を傷つけ、いま頑張っているのにこれ以上頑張れと言うのか！と、現地で反感を持たれたという話も聞きました。「早く忘れましょう」「気持ちは分かります」も、善意であり正直な気持ちであっても受け付けられないケースがあるそうです。私だったら？ ボキャブラリーが貧困ですから直接お会いしたときでも「頑張っていらいやいますね」ぐらいしか…。

◆夏祭りのシーズン到来。例年ならあちこちで櫓太鼓の音が聴こえるはずですが、今年はどうでしょうか。4月の時点で私は、実施の確率は五分五分と読んで夏・40号の1面アタマ記事をひそかにスタンバイしていたのですが、陽の目を見ずに済んでじつはホッとしているのが本音です。なぜかといえば、夏祭りは年に一度の風習であり、風物詩でもあるわけで、節電社会で自粛ムードがささやかれているご時勢でも日本人の心は残したいと思っているひとりです。いつか賑やかに、地元に着した大田文化の森の「夏祭り」を楽しみましょう。

◆いま来年4月からの話をすると、気が早すぎると笑われるかも知れません。でも文化活動を推進する、大田文化の森運営協議会としては読者の皆さんの「公募企画」に期待を寄せ、それをバックアップする喜びがあります。1面・募集記事にありますように、どしどし応募してください。お待ちしております。
運営委員(編集長) 池田 敏夫

運営委員(編集長) 池田 敏夫

過去の編集後記はバックナンバーからご覧下さい。

巻頭特集

地域の輪を広げよう、 2011大田文化の森夏まつり

7月29日(金)30日(土)開催

2011年7月29日(金)30日(土)に行われる文化の森夏祭りです。節電に協力しながら中高生が参加しやすいイベント、子どもたちが一日楽しめるようなお祭りです。

平成 24 年度公募企画 募集!

～大田文化の森であなたの企画を実施してみませんか～

平成24年度公募企画の募集が始まりました。大田文化の森であなたの企画を実施してみませんか？

読み応えのあるコラムが自慢



大田区大好き、 在住の外国人にお聞きしました感想は…

大田区に定住する外国人は186,000人。日本に対する率直な感想を3人の方に聞いてみました。

大田区のおもなパワースポットはここに… 暮らしの中の祈りと願い。

新たなパワースポットとして語られ始めている大田区内の神社を紹介します。



日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



読者の皆さまと編集部がつくる企画。暮らしの中のちよつといい話をお聞かせ下さい。



今回は馬込の伝統野菜を守り続けている方を紹介します。



大田文化の森運営協議会からのお知らせです。今回震災の影響で中止や延期になったイベントもお知らせしています。



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.39Web版

2011年7月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。